



社会福祉

法人

豊中市社会福祉協議会

2007年(平成19年)3月31日

第45号

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

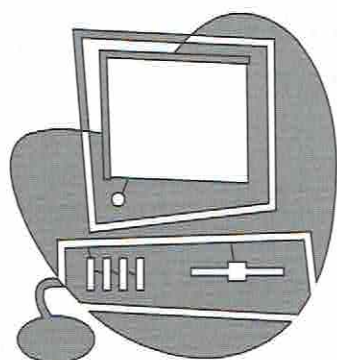
〒561-0881 豊中市中桜塚2-28-7 TEL (6848) 1000

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアセンターだより

ボランティアグループ
あれこれ

ホームページ作成ボランティアグループ 「アクセス」 編



←ボランティア
フェスティバル
にて

「アクセス」は、市社協ボランティアセンターのホームページの更新など、パソコンを活用したボランティア活動をしており、インターネットを通じて、ボランティア活動の案内・募集・支援など、ボランティアに関する情報をより多くの人々に呼びかけることを目的としています。「充実したホームページ」「親しまれるホームページ」を目指して、会員同士でパソコンの勉強をしながらの活動です。もちろん、市社協主催の各種行事にも積極的に参加していますが、通常の活動日は月2回、第1と第3水曜日です。メンバーは現在男性8人、女性6人の計14名で、その中には現役の30代の男性も1人います。

ホームページ関連作業は、他のボランティア活動グループのように直接人と接する事はないので、地味な活動ではありますが、最近はパソコン人口も増え、ホームページのカウントによりますと、毎月820人くらいの人が見てくださっています。ささやかな縁の下の力持ちですが、先般、私たちの活動が高く評価され、大阪府知事表彰を受賞いたしました。最近では会員同士のスキルも向上し、月2回の会合ではホームページの作り方のノウハウや、デジカメ写真の編集など、お互いに新知識の交換を行い、有意義に過ごしております。興味をお持ちの方はどうぞ見学にいらしてください。

◎活動に興味のある方は・・・

★定例会

毎月第3水曜日 10:00～12:00

★活動日

毎月第1・3水曜日 10:00～12:00

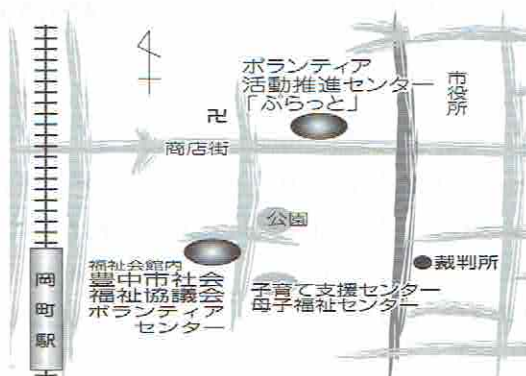
★場所

ボランティア活動推進センター「ぷらっと」

豊中市中桜塚2-19-2

★お問い合わせ

☎06-6848-1000



ボランティアに関するアンケート調査結果(高校生対象)

平成18年10月10日～10月31日の間「とよなかボランティア活動支援実行委員会」の主催で『ボランティアに関するアンケート調査』が行われました。このアンケートは、豊中市内の公立高校6校の1・2年生が対象で、高校生の地域におけるコミュニケーション不足が深刻化するなか、今後の事業に反映していくため、高校生の日常生活や地域活動(ボランティア活動)への参加・関心などについて調査したものです。

アンケート内容の概要については、

- ・性別、学年、住所、所属クラブ、日常生活
- ・ボランティア体験の有無、希望するボランティア
- ・豊中市の取り組み など…

ですが、この中からボランティア活動に関する調査結果をいくつかご紹介します。



◎回答数は3,185件で約92%の回収率でした。

	男	女	合計
全体	1,492(46.8%)	1,681(52.8%)	3,185
1年生	781(48.3%)	837(51.7%)	1,618
2年生	709(45.7%)	842(54.3%)	1,552



◆今後、どの分野のボランティア活動をしたいですか。(複数回答)

	幼児・児童	障害者	高齢者	環境	国際	地域行事	災害援助	野外活動	合計
全	1,454(45.7%)	258(8.1%)	405(12.7%)	964(30.3%)	558(17.5%)	514(16.1%)	370(11.6%)	297(9.3%)	3,185
男	555(37.2%)	88(5.9%)	112(7.5%)	550(36.9%)	197(13.2%)	197(13.2%)	147(9.9%)	139(9.3%)	1,492
女	898(53.4%)	169(10.1%)	292(17.4%)	413(24.6%)	360(21.4%)	316(18.8%)	223(13.3%)	157(9.3%)	1,681

↑
◎1位

↑
2位

◆ボランティアをする場合どこから情報を得ますか。(複数回答)

	学校	情報誌	インターネット	友人知人	公共施設	ボランティアセンター	携帯メール	パソコンメール	合計
全	1,567(49.2%)	360(11.3%)	414(13.0%)	852(26.8%)	262(8.2%)	71(2.2%)	42(1.3%)	24(0.8%)	3,185
男	672(45.0%)	161(10.8%)	216(14.5%)	377(25.3%)	106(7.1%)	30(2.0%)	27(1.8%)	14(0.9%)	1,492
女	895(53.2%)	199(11.8%)	197(11.7%)	475(28.3%)	156(9.3%)	41(2.4%)	15(0.9%)	9(0.5%)	1,681

↑
◎1位

↑
2位

◆「ボランティア」という言葉の響きについてどう思われますか。

	よいイメージ	よくないイメージ	わからない	合計
全	2191(68.8%)	83(2.6%)	484(15.2%)	3,185
男	989(66.3%)	61(4.1%)	248(16.6%)	1,492
女	1202(71.5%)	21(1.2%)	236(14.0%)	1,681

※全てその他・無回答を除く。

高校生にはまだまだ浸透していないようです…。

《災害支援訓練》

1月20日(土)午前7時30分に豊中市全域で震度6強の地震が発生したことを想定とした災害支援訓練を行いました。

当日は災害支援ネットワーク加盟団体が参加し、非常食(アルファ米)の調理や救援物資の配送、避難所の現状調査、緊急時の連絡手段として無線機を使って写真による画像をリアルタイムで送受信して確認などを行いました。応急手当の訓練では豊中市北消防署のご指導による心肺蘇生法の実演が行われました(写真)。

同日、東豊台校区福祉委員会と緑地地区福祉委員会でも災害支援訓練を実施し、重度障害者等安否確認や炊き出しなど行いました。

阪神・淡路大震災から
12年が経過しましたが、
風化させないように心がけ
たいものです。



？アルファ米とは？

炊き上がったご飯を急速乾燥させた物で、お湯(又は水)を注ぐだけで食べられ、長期保存も可能なので非常食にぴったり！

ボランティア ステップアップ講座

3月12日(月)市立福社会館で、登録ボランティアとボランティア団体連絡会加盟グループ、企業・団体ボランティアネットワークとよなかを対象に開催しました。

「介護保険制度、障害者自立支援法等と求められるボランティアへの期待、役割」をテーマに大阪体育大学 教授 大塚保信さんにご講演いただきました。講演の中で「福祉制度は国ごとに特色があり、日本は家族・行政・地域が協働してとり組むことを目指している」「ボランティア活動は、できる事を長く続ける事が大切」とのお話に受講者のみなさんも大きくうなずかれていました。

難しいテーマでしたが、ユーモアを交えながらわかりやすく講演いただき、あっという間の1時間半でした。



【受講者のみなさんの感想】

- ・介護保険制度と障害者自立支援法の理解が深まりました。これからも時間、経験、人脈を生かしてボランティア活動が続けていきたいです。
- ・ボランティアとしての必要性や活動を行なう心構えについて改めて考えることができました。これからも今日学んだことを参考に頑張っていきたいと思います。
- ・本日、はじめて大塚先生の講座を受けさせていただきましたが明るく分かりやすく楽しく勉強できました。ただ時間が短かったのが残念です。
- ・大変勉強になった講座でしたのでもっと多くの参加者があればよかったと思います。

☆第14回☆

豊中ボランティアフェスティバル

ステージ発表



2月11日(日)、豊中市民会館で開催されました。刀根山小学校「おことクラブ」による優雅な琴演奏でオープニング。開会宣言、来賓の市長や市議会議員とボランティアちゃんとのパフォーマンスには暖かい笑みがこぼれました。ボランティアイラストコンクール優秀作品表彰式、小中学生の福祉体験優秀作文発表(P6に関連記事)では豊かな感性が頼もしく感じられました。

初企画された「ともしび歌声広場」は会場が一体となり歌声に包まれました。作業所の人形劇や各ボランティアグループの活動紹介、歌、マジック、フラダンスとウクレレ演奏等と披露され、約1,000人の来場者と200人のボランティアスタッフが終日会場を盛り上げました。(豊中アッシー T.I.)

ファミリーボランティア体験コーナー



ファミリーボランティア体験コーナーは、スタンプラリー形式で、会場内に設置されている8つのポイントを回ります。ポイントではそれぞれ8種類のボランティア体験が用意されており、参加者の方は体験を終えるごとにスタンプを押してもらいます。

◆ボランティア体験の内容は…

- ①リフト付自動車「ユウあい号」の試乗 ②アイマスク
- ③ホームページ作成 ④車いす・階段昇降
- ⑤インスタントシニア(高齢者擬似体験) ⑥手話
- ⑦対面朗読 ⑧点字

また、今回は新たに最終ポイントとして、献血コーナーを設置しました。ご協力どうもありがとうございました。

ちょボラサロン「えがお」のコーナー

今年度から初めて、ちょボラサロン「えがお」のコーナーができました。活動を紹介したパネルの展示や、参加者手作りの作品の展示・販売が行われていました。

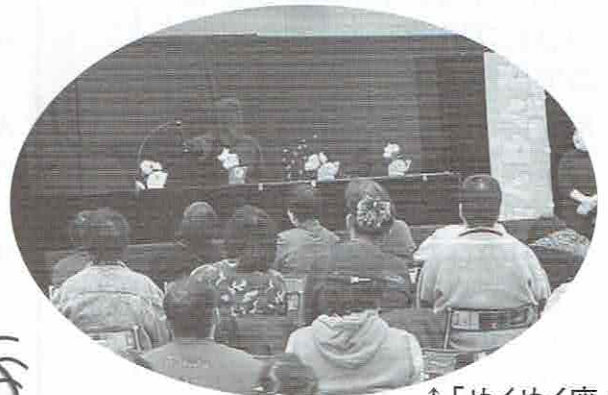
また、ちょボラのメンバーによるフラダンスのステージ発表もありました(右写真)。教えていただいた先生方と一緒に、練習の成果が存分に発揮され、とても楽しそうな感じが会場にも伝わってきました。

※ちょボラサロン「えがお」は、平成16年に精神障害者の社会参加のステップ、地域交流の場、ボランティア活動を実践していく場として誕生しました。



歌声広場 ↑

どの発表も
楽しそう♪



↑「めくめく座」
人形劇



↑
「西丘 男ボラの会」コーラス



「松下電器・
松愛会・ウクレレクラブ」
フラダンスとウクレレ演奏



子ども遊びコーナー



老人大学のOB10人位の方々が折り紙の指導をされていました。多くの作品が展示され、楽しいコーナーになっていました。今回指導されていた作品は、『こま・かぶと・万華鏡』などで、私もこまを教えていただきました。三色の折り紙を使い、折ってみましたが難しく、覚えも悪く大変でしたがなんとか出来あがりしました。折り紙は手先と頭を使うので、とても良いことだと思いました。午前、午後ともに次々といろんな方が来られ、賑わっていました。子どもの頃をなつかしく思いながら、作品の出来上がりを楽しみに作られていました。

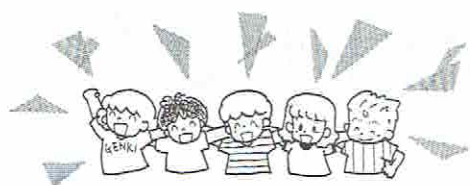
(そよかぜ N.N)

ボランティアは今

今回は、豊中市内の小・中学校で行われている〈福祉体験学習〉で、講師として大活躍していただいているボランティアグループの方々にお話を伺いました。

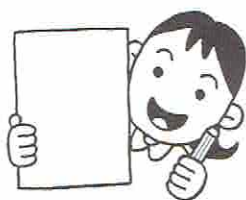
「ステッキ」では市内の小・中学校のボランティア体験学習のひとつとして、インスタントシニア体験のお手伝いをしています。元気いっぱいの子どもたちに高齢者の気持ちを理解してもらうのは大変ですが、きっかけ作りのひとつになれば、と思っています。若いとは言い難い私たちの活動する姿に、なにか感じとってくれたらいいな！

身体を使っただけの体験、時には校外へ、ということもあり、元気な子どもたちとお付き合いすることが多く、時に疲れることもありますが、元気をもらって帰ります。



「みちるべ」は、車いす・アイマスクの体験学習の依頼に対応しています。小学校高学年や中学校では、校外に出る体験が多く、実際の道路や店舗、自販機などの体験で、体や目の不自由な方の立場にたって、障害をなくすことや、人への思いやりなどについて指導してゆきたいです。

福祉体験優秀作文



「体験学習で感じたこと学んだこと」をテーマに、市内の小・中学校の児童・生徒を対象に作文を募集し、優秀作品をボランティアフェスティバルで発表していただきました。その中から最年少の方の作文をご紹介します。

『車イスの人の気持ち』

東豊台小学校3年 中野 由梨

12月6日わたしは、車イスたいけんをしました。

4人1組になります。まず、2人が車イスの横に立って、1人が車イスをそうさして、もう1人が車イスに乗ります。1人、学校を1周するから、4周しました。

わたしが車イスをおす時は、どうしてもまっすぐ進めませんでした。でも、みんなに手つだってもらったり、みんなにはげましたりしてもらったらまっすぐ進めました。車イスに、乗っている人が、こけるかもしれないからとってもこわかったです。あと、下り道は乗っている人が、安全にいられるようにするのが、とってもむずかしかったです。下り道わたしが、乗っている人に「こわくない？」と、言いました。すると乗っていた人が、「ちょっとこわいよ。」と、言いました。わたしは(車イスに乗るのは、ちょっとこわいんだ)と思いました。

そして、いよいよ車イスに乗る時が、きました。乗った時、わたしは(少しこわそうだな)、と思いました。

思っていたとおりに、坂道は、後ろにおちそうで、下り道は、前におちそうで、とってもこわかったです。

点字ブロックを通った時は、体中が、ガタガタしました。少しびっくりしました。マンホールを通った時も、同じようでした。わたしは、少しこわかったです。

みちるべさんたちから、聞いた話は、バスに乗る時はバスガイドさんに、言ったら、板を出して、くれるそうです。

自動はんばいきをおす時はとってもふべんだそうです。わたしは(車イスに乗っている人は、とってもふべんだな)と、思いました。

車イスたいけんをして、車イスに乗っている人たちの気持ちが、とってもよくわかりました。

わたしは、体がふ自由じゃないからたいけんをしないと、気持ちが、分からないから、その時に、いっしょうけんめい体がふ自由の人たちの気持ちを分かってあげたいです。

また、いろいろなたいけんをしたいです。

❖その他発表していただいた方(敬称略)

- ・山本 有咲(寺内小4年) ・小豆澤 舞美(熊野田小4年)
- ・松本 尋也(熊野田小4年) ・鹿間 董(第十五中1年)
- ・岸 あゆみ(第十五中1年)

豊中市社協ボランティア団体連絡会

「豊中市社協ボランティア団体連絡会」という言葉を初めて目にされた方も多いのではないのでしょうか？この連絡会は、平成4年に、市内のボランティア活動団体が結成したもので、現在では、44のボランティア団体が参加しています(下記参照)。各団体は各々の特性を活かして多くの分野で活発に活動しておられます。

目的 各種ボランティア情報の提供・加盟各団体間の情報交換や連携活動の促進・会員相互の交流・ボランティア活動の啓発事業の企画、実施など

啓発事業 豊中ボランティアフェスティバルの開催(P4、5で紹介)・ボランティア情報冊子「ボランティアってなあに」を毎年発行など

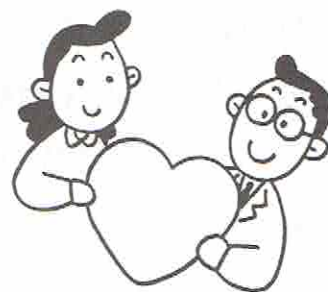
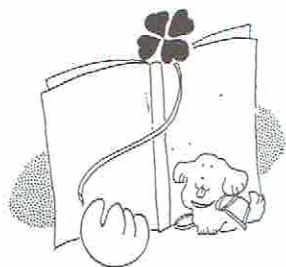
♡参加グループ一覧♡



(平成19(2007)年3月現在・50音順)

「アクセス」	点字サークル つくしんぼ
大阪北生協ともしびボランティアグループ	「豊中アッシー」
大阪北 YMCA サブリーダー会・	「豊中いきいき歌体操グループさわやか」
大阪北 YMCA 野外活動リーダー会	とよなか・おもちゃ病院
大阪声のグループ	豊中市こども会連合会
ガールスカウト豊中地区協議会	豊中市障害児(者)ボランティアグループ「ゆう」
カトリック豊中おもちゃライブラリー	NPO 法人 豊中市青少年野外活動協会
「聴くの会」	豊中手話サークル「あさなぎ」
刀根山病院 草の実会	豊中地区 BBS 会
車いすダンス コスモスの会	豊中点訳会
NPO 法人 ゴールデンベル	豊中筆記通訳グループ「ダンボ」
手話サークル「さざなみ」	豊能障害者登山実行委員会
手話サークル「トマト」	日本福音ルーテル豊中教会女性会
手話サークル「ゆうなぎ」	ボーイスカウト豊中地区
市立豊中病院ボランティアグループ	NPO 法人 動物愛護市民団体「JC DL」
庄内手話サークル「虹」	蛍池手話サークル「ジャンケンポン」
「ステッキ」	まどか
「ズームイン」	「みちしるべ」
「そよかぜ」	友光会
対面朗読サークル ヴォイス	ゆめ・ゆめクラブ
「小さな手」	老人大学 同窓会
「つぼみ」	NPO 法人 NALC わかばの会 豊中
	SA とよなか(シルバーアドバイザー)

ボランティアレポーター訪問記



昨年 11 月に、京丹波町にある知的障害者更正施設の「丹波桜梅園」を訪問しました。当日は、市社協登録ボランティアグループ「小さな手」・「そよかぜ」・「みちしるべ」のメンバーが参加しました。

この施設は、京都市内在住の知的障害児の保護者有志により、平成3年3月に設立、利用者が地域社会で暮らし、自立と共生を目的とした生活と機能訓練を行っています。現在50人の利用者が寝食を共にしながら生活されています。毎日の仕事は、石けん作り・ダンボール箱の組み立て・空き缶潰しや野菜作りなど、その人の障害に適した仕事に携わっており、これらを販売して園の収入としているそうです。施設では多くの職員が、機能訓練の支援活動や、利用者の居室や食堂などの整理・整頓をして、利用者が安心して毎日を送れるよう隅々まで配慮されています。そのために必要な経費に関しては、非常に厳しい状況で、今後も続くでしょうとのことでした。

豊中でもいろいろな障害者の人達のお手伝いをするが増えており、今回の訪問の経験が今後の活動に大いに役立つものと、期待しています。
(みちしるべ M. H)

ボランティア保険のご案内

市社協では、安心してボランティア活動を行っていただけるように各種ボランティア保険の申し込みを受け付けています。

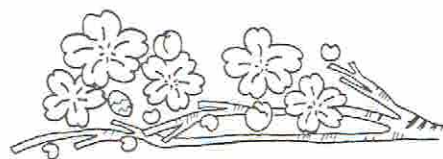
- ◎ボランティア・市民活動行事保険
- ◎ボランティア活動保険
- ◎移送中事故傷害保険
- ◎非営利・有償活動団体保険



事故が無いのが1番ですが…

詳しい内容につきましては、ボランティアセンターへお問合せいただくか、もしくは大阪府ボランティア・市民活動センターのホームページ(<http://www.osakafusyakyoo.or.jp>)をご参照ください。

編集後記



「ボランティア活動を必修にしては…」なんて声がチラホラ。思いやり、人の立場に立って考え行動する、ということ心をまっさらさにして、素直に静かに問うてみるの方が先だと思うんだけど…私は。

(ステッキ K. S)